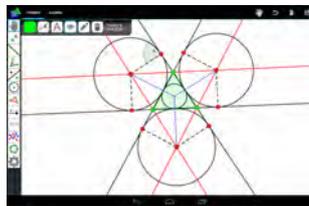


以前も携帯のアプリを紹介しましたが、スマホがすっかり普及してきた今、再びスマホのアプリを紹介します。生徒に知ってもらおうと学習に活用できるかもしれませんね。

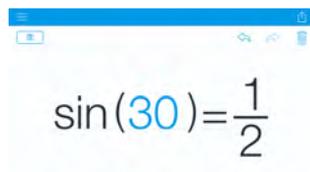
【FreeGeo Mathematik】(Android)



日本でもアプリを開発したり、Steve Jobsのようなプレゼンをするスーパー中学生やスーパー高校生が話題になってますが、FreeGeo Mathematikは、ドイツの15歳のLennart Kleinwortくんが作成したアプリです。このアプリで、Intel ISEF 2014 Top Winnersにも選ばれています。

軽快に動作し、動的幾何ソフトウェアとしては、簡単なことは一通りできます。またスマホアプリということで、手書きに対応しているため、正確な入力が必要になりますが、マウスでの入力のような煩わしさはなくなります。

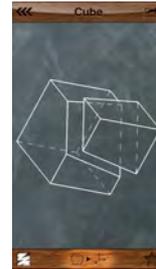
【MyScript Calculator】(iOS,Android)



MyScript Calculatorは、手書きの電卓です。手書きだからと言って侮ってはいけません。手書きの認識率がよだけでなく、 n 乗根や繁分数なども簡単に計算できます。数式処理的なことはできませんが、「?」を使うことにより、簡単な方程式を解くこともできるのです。手書きで入力した数式が、きれいに変換され、計算される様は気持ちいいものです。是非試してみてください。

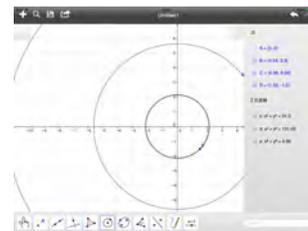
同じ作者の作品であるMyScript MathPadというアプリもあります。これは、数式を手書きで入力し、 $\text{T}_\text{E}_\text{X}$ 形式やMathML形式に変換してくれるものです。

【iCrosss】(iOS)



iCrosssは、多面体の切断ソフトウェアです。多面体の切断の問題は、中学校などでも扱っており、自分で数式処理ソフトなどで作成した方もいることでしょう。iCrosssは、これをスマホ上で簡単にできてしまうのです。最初に多面体(正多面体だけでなく、切頭多面体などもあります)を選択します。すると黒板のような画面に多面体が現れ、指で回転することができます。この多面体の辺を何カ所かタップすることにより、そのタップした点を通る平面で多面体を簡単に切断してくれます。表示方法も断面を斜線で表した形、切断した形、三面図などを選択することができます。

【GeoGebra】(iOS,Android)



以前紹介したことのあるGeoGebraですが、この夏には各所でワークショップなどが行われ、ブームが来そうです。以前はPC上でしか動かなかったものですが、現在では、AndroidやiOS(iPadのみ)でも動作するようになりました。タブレットPCなどを授業内で活用しようとしている方にとっては、朗報ではないでしょうか。GeoGebraは、以前の動的幾何ソフトウェアという枠組みを超越し、今やデータ処理や数式処理などの機能も持っています。

面白い数学アプリがあったら是非とも教えて下さい。
【編集委員会】